

徳島県持続可能な社会を目指した
「国際連携ネットワーク」
第1回会合

発言・意見交換 資料

2020年2月21日(金)

カライスコス アントニオス

京都大学大学院法学研究科准教授

1 これからの社会における課題や変化

- ・ オンライン化およびデジタル化の加速
 - ⇒ デジタル・コンテンツおよびデジタル・サービス供給契約指令(EU)2019/770 など
- ・ オンライン・マーケティング手法の多様化(ターゲット広告やインフルエンサー等)
- ・ オンライン・プラットフォームの役割の拡大および強化
 - ⇒ P2B 規則(EU)2019/1150、消費者保護法の実効性強化および現代化に関する指令(EU)2019/2161 におけるプラットフォーム関連規定
- ・ 前記の変化等に伴う取引のグローバル化
- ・ 前記の変化等に伴う消費者の格差(デジタル・ディバイド等)の創出および悪化
- ・ キーワードとしての「持続可能性」

2 これからの社会における消費者および消費者教育

- ・ 従来とは異なる消費者のスキルや知識の必要性
- ・ 1に掲げた変化等への消費者の対応を可能とする消費者教育の必要性
 - ⇒ 消費者教育における新技術や脆弱な消費者の位置づけ
 - ⇒ オフラインや非デジタルの能力等を軽視する傾向の回避
 - ⇒ 様々な主体の協働
 - ⇒ 消費者教育のためのインセンティブの提供
 - ⇒ 消費者教育と法規制の組合せ
- ・ 国際社会における SDGs、エシカル消費や消費者市民(社会)の重要性の高まり

3 国際連携の重要性

- ・ 前記の変化や課題のグローバル化に伴う国際連携の重要性の高まり
- ・ 諸外国での展開を参照することが不可欠
 - ⇒ エシカル消費や SDGs 関連の活動の成功例および失敗例、そしてそこから得られた示唆を共有することに大きな意義がある
- ・ 徳島県をはじめとする日本からの発信の強化
 - ⇒ 日本風のエシカル(「ジャパニーズエシカル」)や、日本の文化や伝統にちりばめられている SDGs の諸要素の発信